

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6～7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別 概要ページ)
1	○	麒麟のまち創生推進事業費	「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」の構成町との連携により、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能で魅力ある圏域の形成・発展に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回 連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 2回 麒麟のまちエリアプロモーションの実施（麒麟のまち圏域の魅力が伝わる場所やお気に入りの場所などの写真をInstagramに投稿していただき、いいねの数などで入賞作品を決定。入賞作品等を用いてキャンペーンパンフレットを制作し、圏域内の小中学校や観光関連施設等へ配布。投稿作品数705点） 	「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づき圏域全体の活性化に資する各種事業を実施するとともに、麒麟のまち創生戦略会議や連携中枢都市圏ビジョン懇談会において、圏域を取り巻く社会課題等について議論・検討を行った。 また、圏域内の魅力が伝わる写真をInstagramに投稿していただくことで、圏域の魅力が様々な角度から発信されるとともに圏域内の周遊促進や圏域住民の愛着度・認知度向上、圏域外への魅力発信に寄与した。	「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、麒麟のまち圏域の一体的な発展を目指し、圏域市町で連携して取組を進める。	企画推進部	政策企画課	69
2		鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金	鳥取・岡山両県の県境に位置する自治体で連携し、共有する課題や目標について、調査研究や関係機関等に対する要望等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 総会、会議等への出席（オンライン開催） 岡山県・鳥取県両知事への要望 	鳥取・岡山県境に位置する自治体で連携し、関係機関に要望活動を行うことにより、両県に共通する課題の解決につなげ、住民の生活の質の向上に資することができた。	今後も社会情勢に注視し、周辺住民の生活におけるニーズや問題点などを見据えながら、引き続き鳥取・岡山県境に位置する自治体で連携し、関係機関への要望活動等を行っていく。	企画推進部	政策企画課	—
3	○	人材誘致・定住促進対策事業費	移住定住専任相談員等の配置や移住・交流情報ガーデンの設置により、移住相談者等に対する伴走型支援を実施するとともに、移住希望者が本市の情報に触れる機会の増加に向け、大都市圏での移住相談会への出展や移住定住専用ポータルサイトの運営等による戦略的な情報発信を展開する。 さらには、お試し定住体験施設の管理運営や地域団体等との連携による中山間地域の空き家の利活用を促進することで、移住定住の推進や自立した地域コミュニティの維持につなげる。 加えて、麒麟のまち1市6町で連携した取組の実施により、圏域での移住促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 移住相談窓口（本庁舎）及び鳥取市移住・交流情報ガーデンの設置 移住定住専用ポータルサイトの運営及び戦略的な情報発信の実施 東京及び大阪での全国規模移住相談会（オンライン開催含む）への出展 圏域合同2回 単独6回 各種移住支援制度による補助金の交付 計31件 お試し定住体験施設の管理運営 4施設（市街地1、用瀬1、佐治1、気高1） 移住定住空き家バンクの管理運営 9地域 移住定住等による中山間地域の空き家の利活用に係る各種補助金の交付 計5件 麒麟のまち圏域の空き家情報の発信 	対面移住相談会への出展や各種SNS及び移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」での情報発信等により、令和6年度は272世帯の移住相談登録があった。相談者に対する移住定住専任相談員による伴走型支援の実施や各種移住支援制度による支援により、507人（4月時点の鳥取市調べ）と過去最高の移住者の受け入れにつながった。これにより、地域の活性化が期待される。	前年度との比較で、移住相談登録者数・移住者数はともに増加した。今後もポータルサイト等での情報発信により登録者数の増加を図るとともに、移住定住専任相談員による丁寧な相談対応により移住者数増へ繋げていく。また、移住希望者等のニーズ把握に努め、移住支援施策の充実を図る。	市民生活部	地域振興課	82

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6～7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別 概要ページ)
4	○	広域観光開拓・推進事業費	本市を含む麒麟のまち圏域1市6町が連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営や活動に対して支援を行い、圏域への誘客や観光消費額の拡大による地域経済の活性化を図る。	①麒麟のまち観光局事務局体制の強化 専務理事を含む6名体制 ②観光DXの推進による圏域のファンづくりとデータ分析 ・「このへん共和国」会員募集のためのキャンペーン展開や圏域周遊促進事業の展開及び参加店の募集・登録・サポート等を実施。 ・令和7年3月末現在：会員数9,981人、参加店数200店舗 ③山陰海岸ジオパークやローカル鉄道を活用した流通整備事業の実施 ・3DMO連携 山陰海岸ジオパーク周遊ルート造成（モデルルート3件、コンテンツ12件を造成） ・ローカル鉄道を活かした周遊促進（ガイド付きコンテンツ15件を造成、FAMトリップ2回実施） ④マーケティング事業 ・麒麟のまちWEBアンケート調査への送回答件数：2,763件 ⑤圏域観光商品等のWEBを通じた販路拡大 ・JR西日本と連携したインバウンド向け「楽しい鳥取バス」（鉄道周遊旅券と地元体験クーポンのセット商品）の販売展開	1市6町で形成する麒麟のまち圏域への誘客効果や観光消費拡大に伴う経済効果を高めるため、DXシステム「このへん共和国」の運用を軸に情報発信力強化や各種キャンペーンの取り組みによる周遊促進を図った。また、インバウンド向けの各種商品造成やオペレーション（受注）体制の構築を行うことで、受入環境の向上を図った。	観光DX等を通じた効果的なマーケティング分析により圏域への観光誘客を図るとともに、海外向け販路の開拓やツアーオペレーション機能の充実によるインバウンド需要の獲得と受入体制のさらなる強化を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	181
5	○	農産物販路拡大支援事業費	県内外のバイヤーの実需を把握し、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、関西圏や首都圏でのマルシェの開催や商談を通して広域的なPR活動を行い、麒麟のまち圏域の農林水産物等の知名度アップを図ることで、鳥取地域の農産物のブランド化を推進する。	・マルシェ 16回 ・商談事業 42回	（株）地域商社とっとりや（一社）山陰ミツ星マーケットと連携し、マルシェを16回、商談事業を42回開催し、新たな販路開拓を行うとともに、関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化・ブランド化への取組を図った。	（株）地域商社とっとり等と連携した商談会の開催や催事等への出展により新たな販路開拓を継続して行うとともに、首都圏への展開やこれまでの事業で得た関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、販路拡大と産地化・ブランド化に向けた取組を更に推進していく。	農林水産部	農政企画課	189
6	○	鳥の農場文化交流創造事業費	鳥の劇場と連携し、農業への理解と地域への愛着を深める新たな機会の創出を図る。また県内外における公演とあわせてマルシェを開催し、地元農産物を積極的にPRし知名度アップを図ることで、本市農業の生産振興及び販路拡大につなげる。	・農業ワークショップ開催：10家族（水稻） ・マルシェ開催：3日間 ※来店者：857人 ・食材提供：25品目 ・新商品開発：町内飲食店1店舗、ミックスジュース1品（いちじく）	鳥の劇場と地域の人々、町内店舗が協力して新たな商品の開発や賑わいを創出し、劇場誘客・集客に貢献することができた。特に公演に合わせたマルシェ開催や劇団をイメージした商品、町内飲食店で提供される新メニューの開発により舞台鑑賞者増と地元農産物のPRに寄与できた。	引き続き公演に合わせたワークショップやマルシェを開催し、一過性の集客にとどまらず、農業体験を通し舞台周辺に足を運んで集客の仕掛け作りを確立するとともに、新設された鳥のカフェで提供の農産物等広くPRして、演劇×農業の地域振興を図っていく。	農林水産部	農政企画課	192